

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハッピー柏教室		
○保護者評価実施期間	2025年 7月 25日		～ 2025年 8月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	2025年 7月 23日		～ 2025年 7月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○訪問先施設評価実施期間	2025年 7月 25日		～ 2025年 8月 31日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	3	(回答数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 9月 30日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	年長から就学に向けてのフォローがしっかりと出来ている。	お子様の環境が変化しても安心して集団生活を送れるようにしている。	お子様が就学後も環境に馴染めるように、訪問先や保護者様との連携を継続していく。
2	児童発達支援も利用されている方については、お子様の様子を把握できている。また課題感を事業所で共有し支援に活かして取り組める。	課題感について、職員で検討し取り組むことが出来る。	課題感を保護者様や訪問先だけでなく、関係機関にも共有していく。
3	お子様の特性を理解し、多角的な視点から支援が出来る。	療育的な視点だけではなく、環境的な要因やお子様の特性、又は性格などを踏まえたうえで、課題感に対してアドバイスやフォローを行うことが出来る。	今後も多角的な視点で状況を判断し、そのお子様に適したアドバイス等を行っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	行事やクラスの状況に応じた介入等、柔軟な対応が必要。	教室の職員の配置や出勤状況によって、訪問可能な日にちが限られてしまっている。	保護者様や訪問先とすり合わせをしていき、必要な場面や行事等を事前に把握し、職員配置の調整を行っていく。
2	職員の支援力の向上のために研修や振り返りの時間を確保する必要がある。	保育所等訪問支援に対する研修を実施しているところが少ない。またお子様によってニーズや環境が違うため対応方法がその時々によって変わってくる。	社内で事例検討等のような勉強会を実施していくことが必要であり、他教室とも連携を取りながら支援力の向上を図っていく。
3	児童発達支援を利用されていないお子様については、職員間で様子を把握しにくい。	お子様の様子や特性の共有をしても、実際に関わると予期せぬことが多々起こる。	特性が似た利用者様を想定したり、イベント等で利用者様に事業所に来てもらったりし、他の職員もお子様のことを把握出来るようにしていく。